

令和6年度 第1回山形県食の安全推進会議 協議事項に対する御意見等

No	委員	ご意見等	回答	担当課	備考
1	岸 委員	農薬適正飼養推進員と農薬管理指導士の各研修を通して新規認定者が増えている事は心強い。	引き続き、新規認定者の増加に努めてまいります。	食品安全衛生課	
2		畜産物や水産物の各種検査と指導が行われたこと、又流通する食品の監視と指導もすべて100%以上実施されたことを確認しました。	引き続き、監視及び指導に努めてまいります。	畜産振興課 水産振興課	
3		2/8ページの上、エコエリアモデル地区での食育イベントとはどこでどんな育成イベントだったのか知りたい。	南陽市の法人が有機栽培で作っている「さといも」の圃場において、小学校低学年までの幼児・児童とその保護者を対象に、はじめに生産者から有機栽培のことやさといもの栽培・収穫方法を説明いただき、その後、親子で収穫作業を行い、そのさといもで芋煮を作って食べる、といった体験活動を行いました。	農業技術環境課	
4		毎年の「食の安全推進交流会」の開催情報を得るにはどうすれば良いのでしょうか	「食の安全推進交流会」の開催については、山形県や公益社団法人山形県食品衛生協会（以下、「協会」とする。）の公式ホームページへの掲載の他、協会と連携し関係団体へお知らせしています。 今後は上記に加え、各種SNSでの発信等、県民の方へもより広く情報提供できるよう努めてまいります。 また、委員の皆様へは電子メール等で個別に御案内を差し上げることとします。	食品安全衛生課	
5	長谷川 委員	【HACCPに沿った衛生管理の定着について】 HACCPに沿った衛生管理の定着については、当協会として、食品衛生指導員の巡回活動を通じて指導助言を行うほか、各地区協会の食品衛生指導員幹部を対象とした会議などで議題として取り上げ普及を図っているが、大規模事業者においては組織として確実に定着している一方で、小規模事業者においてはなかなか定着が進んでいない状況である。 県としても、HACCPに特化した取組の強化をお願いしたい。 例えば、小規模事業者の実態調査とその結果を踏まえた個別指導など。 （山形市においても同様の取組みをお願いしたい。	実態調査につきましては、現在保健所職員が監視活動の際に作成する「食品衛生監視票」を活用し、小規模事業者の衛生管理状況を把握する方法を検討しております。 保健所では、HACCPの定着促進のために講習会や定期的な施設監視を行っておりますが、この実態調査を踏まえ、より効果的な指導・助言に取り組んでまいります。	食品安全衛生課	